

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	11,264千円	10,918千円	717千円	0千円
	総人件費	7,582千円	8,407千円	15,288千円	
	総事業コスト	18,846千円	19,325千円	16,005千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	公共施設マネジメント推進室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	18	公共施設等資産マネジメントに要する経費

事務事業名	01	公共施設マネジメント推進事業			指標名	(~H28年度)計画策定の進捗率, (H29年度~)計画運用の進捗率				指標種別	活動結果指標			指標の概要	(H28年度まで)計画策定期間中の各年度末での業務工程の業務項目ごとの完了状況 (H29年度から)公共施設等総合管理計画ロードマップの年度ごとの完了状況			
戦略プラン	13	1	行政改革の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略	1	3	快適な居住環境の整備		実績	12.5%	75.0%	100%						その他の指標	・広報つくば掲載回数年1回以上 ・庁内への情報発信年3回以上			
	2	1	災害に強いまちづくりの推進															
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～				改善目標	H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	・インフラ長寿命化基本計画(国土交通省) ・公共施設等総合管理計画策定にあたっての指針(総務省)				事業計画	「公共施設白書」を公表することで市民と公共施設に関わる情報の共有を図る。公共施設のデータベースを庁内で共有し、効率的な維持管理等に活用する。市民意向を踏まえた「公共施設等資産マネジメント計画」を策定する。				改善目標 ・公共施設の現状を市民がより理解できるよう、「公共施設白書」の内容を充実させる。 ・計画に掲げた取組を推進するため、全庁横断的な体制を作り、情報共有しながら進める。								
事業分類	A 任意的事業				活動実績	・公共施設白書の公表(5月) ・市民アンケートの実施(6月) ・施設情報の収集及びデ-タベ-スの更新(6月~7月) ・公共施設等資産マネジメント計画策定(3月) ・講習会等への参加,先進自治体の情報収集(随時) ・施設等の所管課を対象にセミナーを開催(随時)				事業計画 ・庁内推進会議の設置(5月) ・庁内推進会議の開催(5月,8月,1月) ・個別施設計画策定の進捗管理(5月) ・施設情報の収集及びデ-タベ-スの更新(7月~8月) ・公共施設白書(平成29年度版)の公表(1月) ・庁内共通維持管理マニュアルの作成(5月~3月) ・出前講座の開催(随時) ・施設等の所管課を対象にセミナーの開催(随時) ・講習会等への参加,先進自治体の情報収集(随時)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				成果	・施設等の所管課を対象にセミナーを開催(5月23日) ・公共施設白書の公表(6月) ・市民アンケートの実施(6月) ・施設情報の収集及びデ-タベ-スの更新(6月~10月) ・出前講座開催(8月20日) ・パブリックコメント実施(12月,意見提出10名,63件,修正箇所9件) ・公共施設等総合管理計画策定(2月) ・計画検討会議(5回開催) ・講習会等への参加(5回),先進自治体の情報収集(石岡市,龍ヶ崎市,下妻市)				上半期活動実績				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	公共施設の最適化による経営の効率化を図るとともに,市民にとって快適で魅力ある施設を実現するため。				課題	・公共施設白書の公表(6月) ・市民アンケートの実施(6月) ・施設情報の収集及びデ-タベ-スの更新(6月~10月) ・出前講座開催(8月20日) ・パブリックコメント実施(12月,意見提出10名,63件,修正箇所9件) ・公共施設等総合管理計画策定(2月) ・計画検討会議(5回開催) ・講習会等への参加(5回),先進自治体の情報収集(石岡市,龍ヶ崎市,下妻市)				上半期成果				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	(H28年度まで)市が保有する公共施設の全体像を把握し,市の実情に応じて,長期的な視点をもって,計画的に維持管理,修繕,活用等を行うため,その基本的な方針となる「公共施設等資産マネジメント計画」を策定する。 (H29年度から) 「公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～」に基づき,公共施設を長期的な視点を持って効率的かつ効果的に維持管理・修繕し,長寿命化を行うことで財政負担の軽減・平準化を図り,保有する公共施設を資産として有効活用することなど公共施設マネジメントを推進する。				評価	・公共施設の現状を,より市民に理解してもらうため「公共施設白書」の内容を充実させる必要がある。 ・全庁横断的に公共施設マネジメントを推進するための体制を整備する必要がある。				課題				一般財源	11,264千円	10,918千円	717千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	地球温暖化の防止			達成	施設の長寿命化により大規模修繕・更新をできるだけ回避し,環境負荷を軽減する。業務の効率化により経営資源の有効活用に繋げ,エネルギー使用の縮減に貢献する。				事業の進捗状況				人件費(B)	7,582千円	8,407千円	15,288千円	
	H29環境関連性	地球温暖化の防止			達成	施設の長寿命化により大規模修繕・更新をできるだけ回避し,環境負荷を軽減する。業務の効率化により経営資源の有効活用に繋げ,エネルギー使用の縮減に貢献する。				事業の進捗状況				正職員	1.00人	1.00人	2.00人	
					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				H30年度当初積算根拠	H30年度当初積算根拠	H30年度当初積算根拠	理由	-
					評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -								
					評価	総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -								